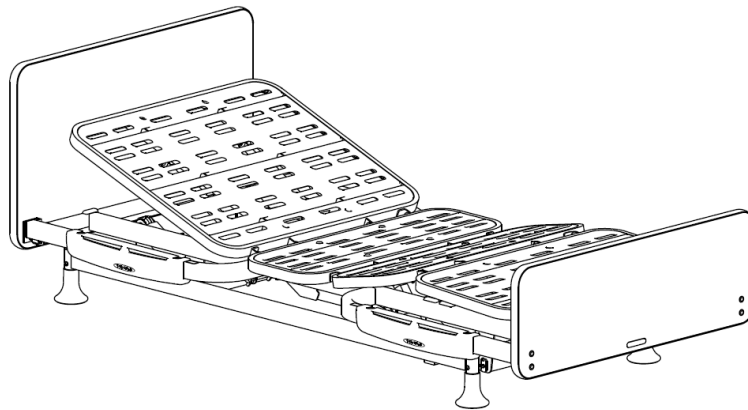


取扱説明書

179755-8900

RE02F

※ デザイン形状等は、型式により異なります。



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくための、注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

ベッド本体以外の取扱商品について

- ベッド本体以外のベッド用グリップなど、オプション品については、オプション品に同梱されている取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、ベッド本体の取扱説明書と一しょに、所定の場所に保管してください。

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	2
2. 各部の名称	8
3. ベッドの使用	9
4. サイドレールとベッド用グリップについて	14
5. リフトの利用について	31
6. 仕様	32
7. お手入れ方法	34
8. 点検	36
9. 消耗部品	38
10. 耐用期間	38
11. こんなときには	39
12. 停電や故障で背がおきたまま停止してしまったとき	40
13. アフターサービスについて	42
14. 保証書	42

1. 安全のために必ずお守りください

絵表示について

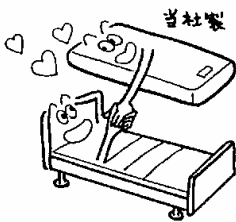
この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために下記の絵表示をしています。

その指示と内容は、次のようになっています。

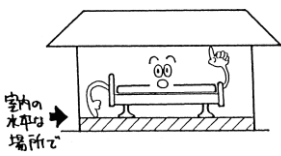
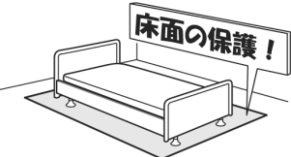
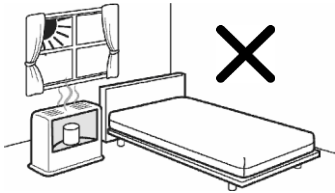
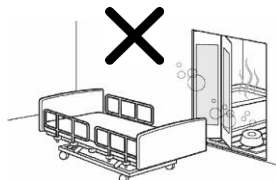
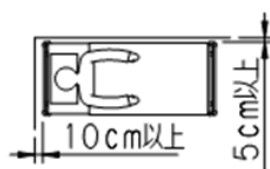
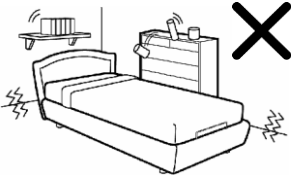
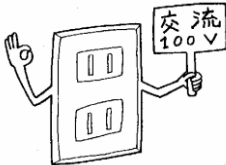
内容をよく理解してから本文を読んでください。

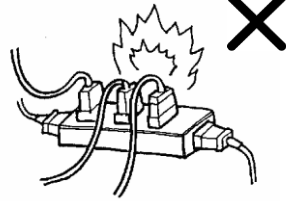
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (～しないでください)
	この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 (～してください)
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。

設置する時

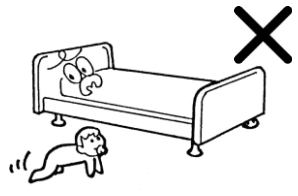
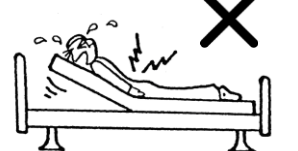
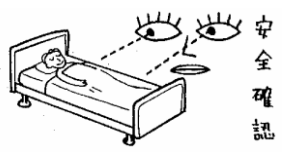
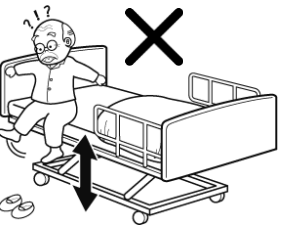
 警告		
必ずベッドの仕様に合った、弊社製のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを使用してください。本取扱説明書に記載されている適合するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを確認してください。 他社製品を使用すると、すき間が大きくなる可能性があり、思わぬ事故の原因となります。		

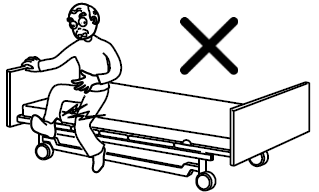
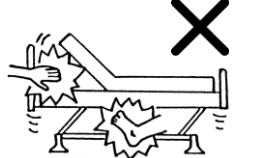
 注意	
ベッドの組み立て、分解は必ず弊社サービスマン、または販売店におまかせください。 ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。	
ベッドの設置時にボトムのすき間に指を挟まないように注意してください。	

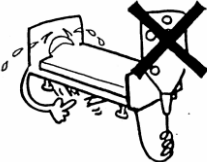
ベッドは、室内の突起物のない水平な場所で使用してください。 平坦な場所以外、屋外、風呂場などで使用するとガタツキ、変形、故障、事故の原因となります。		
ベッドの重量に十分耐えられる床の強度を確保してください。また、床の材質によっては、ベッドフレーム設置面が傷つくことがありますので、極力カーペット類を使用して、床面の保護を行ってください。		
直射日光やエアコンからの風が直接当る場所は避けてください。また、ストーブなどの熱器具、および火種になるものはベッドの近くに置かないでください。 変形、変色、劣化、火災の原因になります。		
高温、多湿な場所は避けてください。 反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。		
ヘッドボード、フットボード、脚部は確実に固定してください。 思わぬ時に外れてケガをするおそれがあります。		
ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。 ● ベッドの頭側／脚側（長手方向）：10 cm 以上 ● ベッドの両側（サイド）：5 cm 以上 ベッドの動きにより周囲のものを破損したり、事故や故障の原因となります。		
部屋の中でコンセントの位置、家具の引出し、扉などの開閉などに支障がないことを確認してください。 ベッドを組み立ててからの移動は困難になります。		
ベッド設置場所の上部に落下物を置かないでください。 地震時などに落下物でケガをする原因になります。		
交流 100V、50／60Hz 以外の電源で使用しないでください。 火災、感電の原因となります。		

電源コードの上に重いものをのせたり、コードがベッドの下敷きにならないようにしてください。 コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。		
電源プラグは直接コンセントに差し込み、コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続（たこ足配線）しないでください。 火災の原因になります。		

使用する時

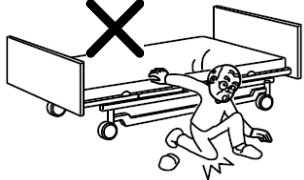
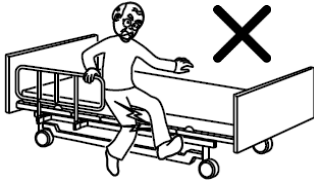
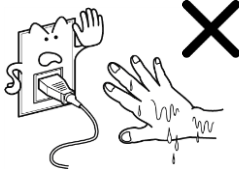
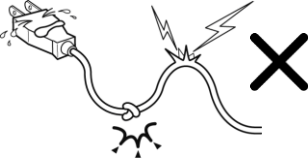
 警告		
症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、昇降）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。使用に際しては、医師の指示に従ってください。 事故の原因となります。		
子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。 思わぬ事故の原因となります。		
背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。 これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に無理がかかります。		
手元スイッチでベッドの操作をする時には、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やものの安全を確認するとともに、足元などにも注意しながら行ってください。また、なんらかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止してください。特にサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。 人がケガをしたり、ものが破損するなど、事故の原因となります。		
移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調節して使用してください。 思わぬケガをするおそれがあります。		
ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。 ベッドの高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒するおそれがあります。		

ベッドから乗り降りする際は、ベッド本体のマットレスストッパーなどの突起物に衣類を引っ掛けないように注意してください。 ケガをするおそれがあります。		
手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状態などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなると思われる人には、操作をさせないでください。 誤った操作による事故の原因となります。		
このベッドは大人用です。12 歳以下の子供、新生児、幼児などには使用させないでください。 また取扱説明書、注意ラベルの内容が理解できない方（認知症の方など）には使用させないでください。 思わぬ事故の原因となります。		
ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体を入れないでください。 挟まれてケガをするおそれがあります。		
サイドレールやヘッドボード、フットボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。 破損したり、ケガをするおそれがあります。		
ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。 破損したり、ケガをするおそれがあります。		
本製品は 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。 重大な事故の原因になります。		
モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。 故障の原因となります。		
サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。		
使用荷重は最大 1700N（約 170kg）です（使用者の最大体重は約 135kg です）。体重とマットレスと付属品を含めた荷重が 1700N を超えるときは、使わないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因となります。	1700N 以下 	

ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。 火災や事故の原因となります。		
サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。		

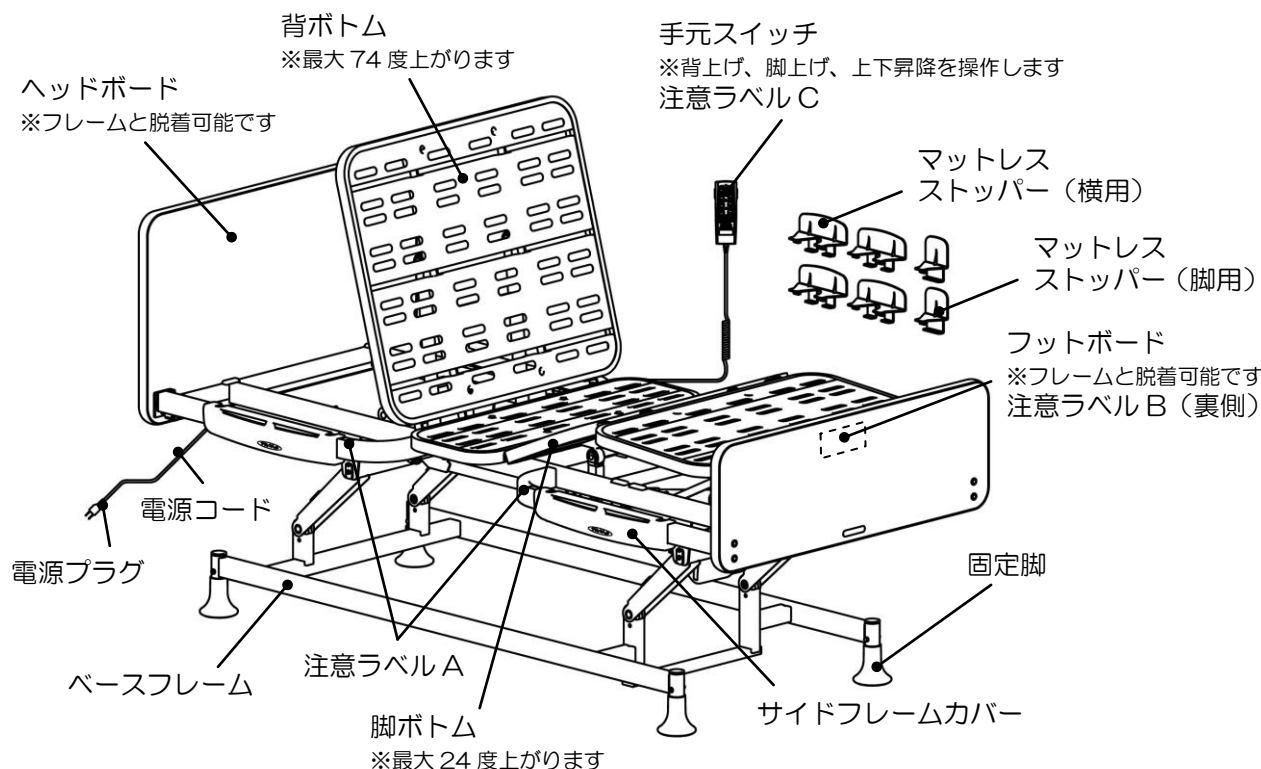
⚠ 注意

⚠ 注意		
動作しないなど異常の時は、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。		
電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。		
電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。 コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。		
ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。 ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。		
電源コードが傷んだり（芯線の露出、断線など）、動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。		
手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて 1 つずつ押してください。 複数のボタンを同時に押したり、不必要なボタンを押すとかわぬ動きをし、乗っている人や周囲の人がケガをするおそれがあります。		
手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールやベッド用グリップの外側にかけてください。 ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作するおそれがあります。		

操作を禁止する場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。 無意識にボタンに触れて誤動作するおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。	
頭側もしくは脚側から介助する場合は、必ずヘッドボード、フットボードを取り外してから行ってください。 ヘッドボード、フットボードに負荷がかかり、ベッドが破損するおそれがあります。	
ベッドから降りる際は、なるべく背上げた状態で行ってください。特に足腰に不安がある方はベッド用グリップの併用をおすすめします。	 
衣服がめくれ上がった状態で乗り降りしないでください。 ケガをするおそれがあります。	 
ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。	 
濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。	 
電源や手元スイッチのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。	 
モーターや手元スイッチ、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。	 
電源コードや手元スイッチは本製品の専用品です。他の目的に使用しないで下さい。 破損、火災、感電の原因となります。	
手元スイッチのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。 ボタンが破損するなどの原因となります。	
手元スイッチを落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。	
ヘッドボードやフットボードを持ってベッドを引きずらないでください。 ベッドが破損するおそれがあります。	

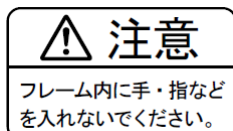
2. 各部の名称

- 各部の名称は図の通りです。
- ベッドには、図のように注意ラベルがあります。使用前に位置と内容を確認してください。



- 注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。
- はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

注意ラベル A



注意ラベル C

- 操作をする前にベッドの下部や周囲の安全を確認してください。
- ボタンは必要な動きに合わせて 1 つずつ押してください。

注意ラベル B

警告

- 頭、腕及び足をサイドレールから出したまま背上げ、脚上げ操作をしないで下さい。
- 各部を操作する時はフレームに身体、手足、指を挟まないように注意して下さい。
- サイドレール及びベッド用グリップは、必ず取扱説明書に記載のものを使用して下さい。
- 背上げや脚上げ状態で、背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないで下さい。
- このベッドは一人用です。二人以上でお使いにならないで下さい。
- 安全使用荷重は1700N(約170kg)です(使用者は約135kg)。それを超える荷重で使用しないで下さい。
- 幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には操作をさせないで下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。

3. ベッドの使用

1. ベッド使用前の準備

初めてベッドを使用する時は、以下の準備を行ってください。

- 周囲に障害物のない場所にベッドを設置します。電源コードに十分余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
- 手元スイッチを押し正常に動作することを確認してください。
- ベッドを一番高くしたときに、コード類がひっかかっていないか、十分余裕があるか確認してください。

⚠ 注意

操作をする前にベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人や物がないことを確認してください。特にサイドレール、ベッド用グリップには十分注意してください。



手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて1つずつ押してください。

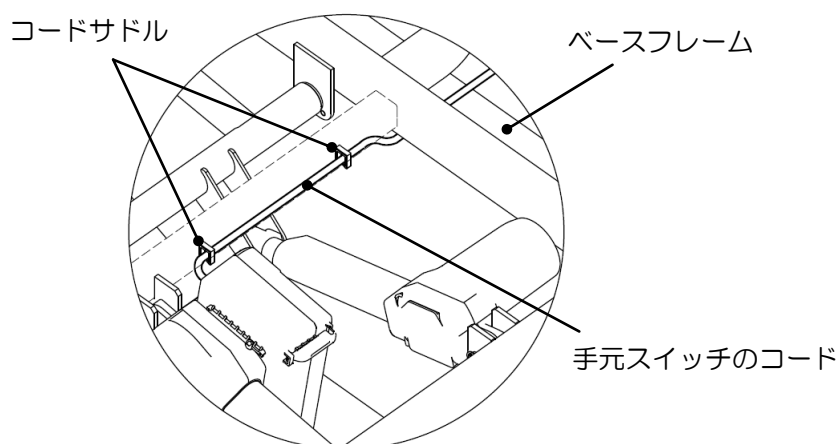


モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。安全装置が働き動作しなくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。



2. 手元スイッチのコードの処理

手元スイッチを出す側を変える場合は、手元スイッチのコードをベースフレームの上を通してから、2箇所のコードサドルに引っ掛けます。

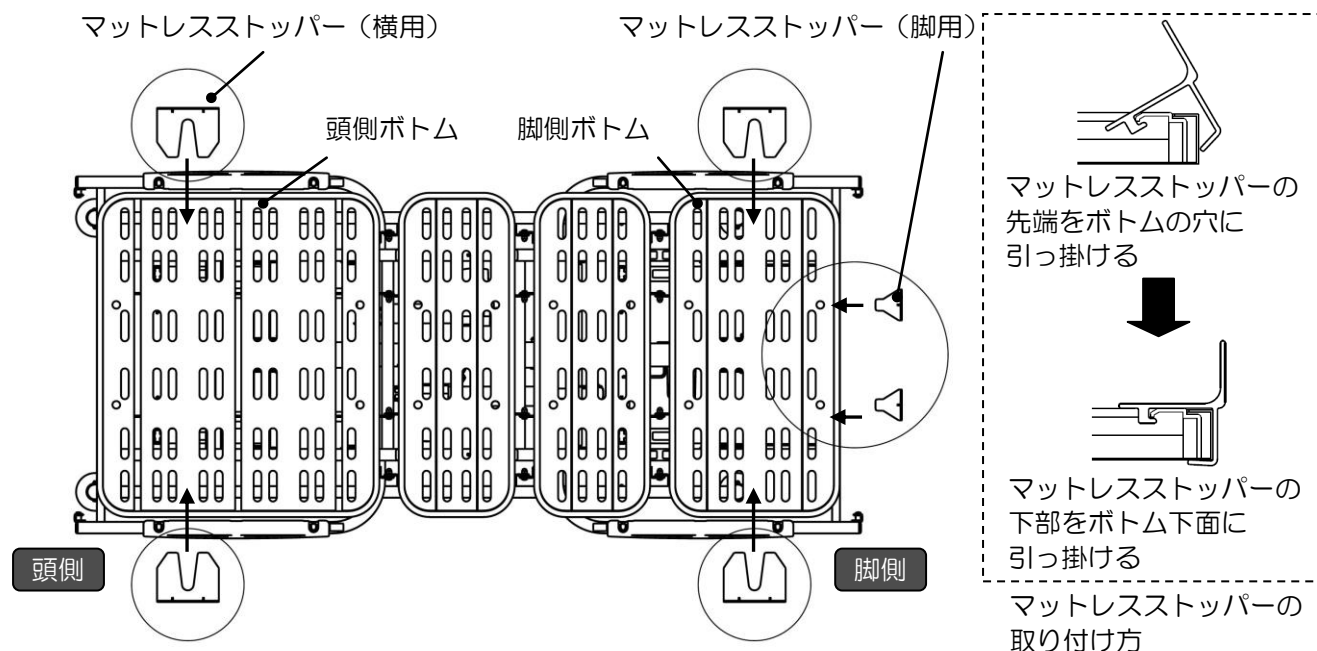


3. マットレスストッパーの取り付け

マットレスストッパーはマットレスのずれを防止する部品です。

サイドレール、ベッド用グリップをご使用にならない場合は、その箇所にマットレスストッパーを取り付けます。

取付位置は下図の通り、横用（4個）は長穴に、脚用（2個）は丸穴に取り付けます。



⚠ 注意

サイドレール、ベッド用グリップをご使用になる位置にはマットレスストッパーを取り付けしないで下さい。

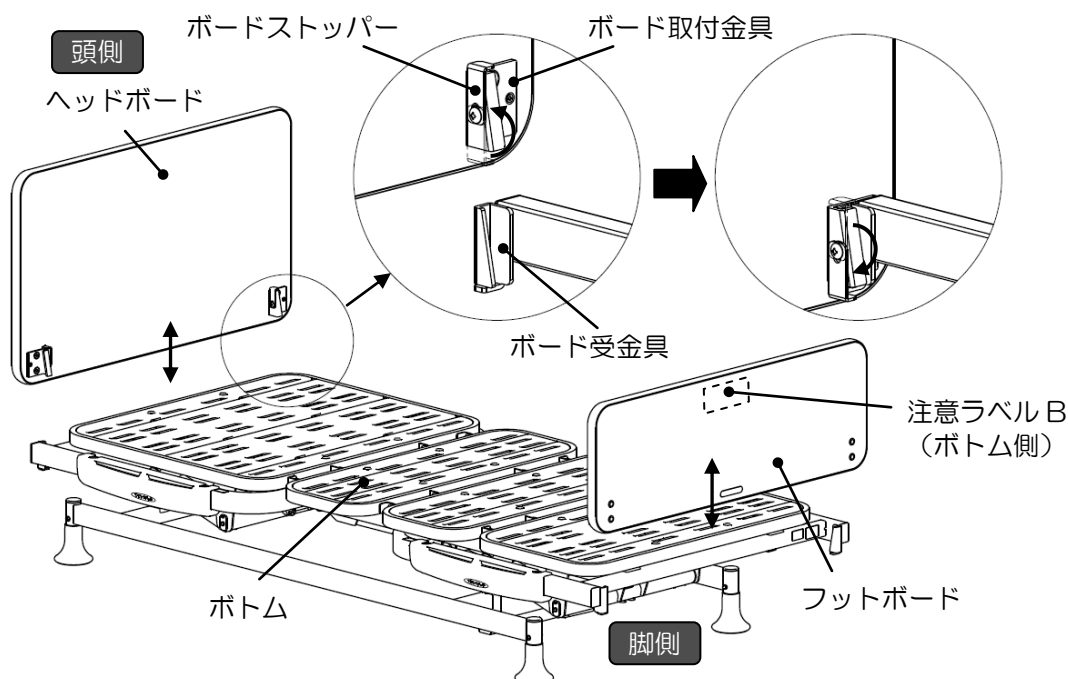
サイドレール、ベッド用グリップがマットレスストッパーと同じくマットレスのずれを防止する役割となります。

マットレスストッパーとサイドレール、ベッド用グリップが接触して、ケガや事故の原因となります。



4. ヘッドボードとフットボードの脱着

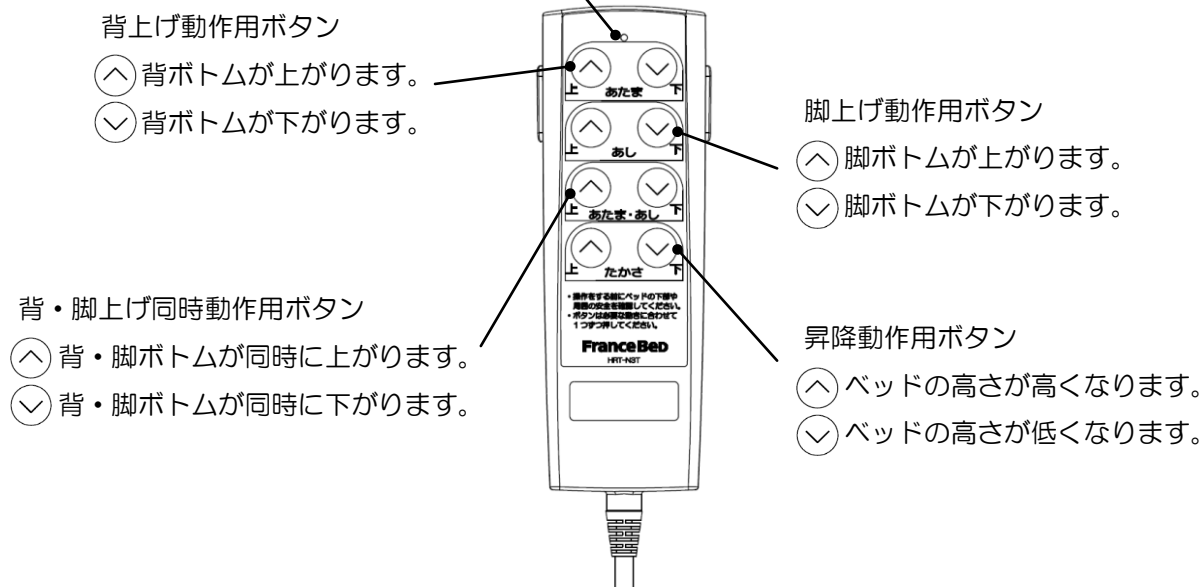
ヘッドボード・フットボードを取り外す場合は、ボードストッパーを上に戻してから外します。ヘッドボード・フットボードを取り付ける場合は、ボードストッパーを上に戻してから取り付けます。取り付け後にボードストッパーを下に戻して固定します。



5. 手元スイッチの操作方法

- ベッドを操作するときは、手元スイッチの各ボタンを1つ押してください。ボタンを押している間、パイロットランプが点灯し、ベッドが動きます。

パイロットランプ（動作表示）

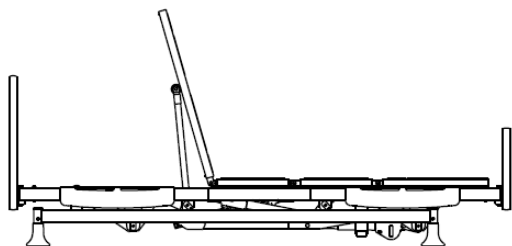


3 モータータイプの手元スイッチ

6. 背上げ動作と脚上げ動作の使用法

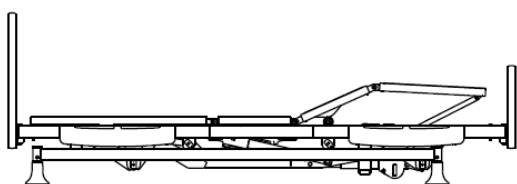
- 手元スイッチのボタンを押すことで、背上げ動作や脚上げ動作を行うことができます。

背上げ動作



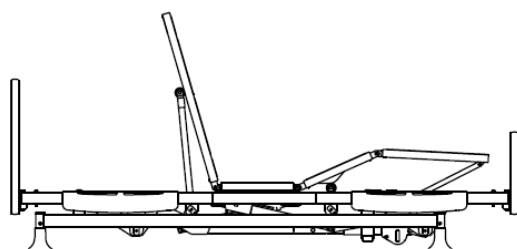
- ベッドから起き上がりのときに便利です。
- ベッドでの食事、読書などで背もたれとして使用できます。
- 介護する方の負担を軽減します。

脚上げ動作



- 脚がむくんだときや、少し脚を上げたいときに使用します。
- 背上げをする時に先に上げておくと、体のずれを少なくできます。

背上げ + 脚上げ同時動作

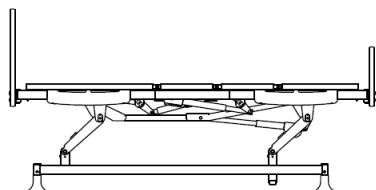
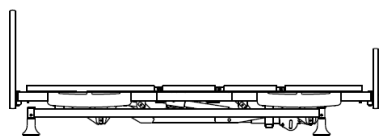


- 背と脚が同時に動きます。
- 背上げ動作による体のずれを防ぎます。

7. 上下昇降動作（ハイロー機能）の使用方法

- 手元スイッチのボタンを押すことで、上下昇降動作を行うことができます。

上下昇降動作

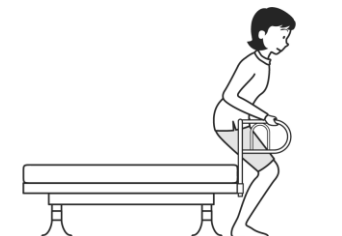
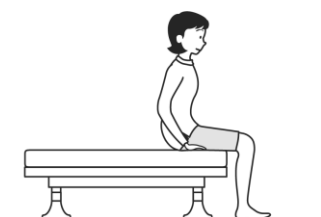


- ベッドから立ち上がる高さを調整することができます。
- ポータブルトイレや車いすなどに移乗するときに高さを合わせられます。
- ベッドの高さを調節することによって楽な姿勢で介護出来ます。
- 上下昇降動作中は、若干ベッドが前後に移動するため、ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にもものを置かないでください。

ベッドの頭側／脚側（長手方向）：10 cm 以上

ベッドの両側（サイド）：5 cm 以上

上下昇降動作の活用方法



- 本製品は、高さを変えることで、立ち上がりや車いす、ポータブルトイレへの移乗が楽に行えます。
 - マットレスの上に座り、かかとを床に着け、ひざが直角に曲がるくらいにすると座位が安定し、立ち上がりやすい姿勢です。ベッド用グリップをご使用になりますと、「立つ」、「座る」の動作負担を軽くすることができます。
 - ベッドからの移乗は、マットレスの上面が車いすやポータブルトイレなどの座面よりも少し高めの方が移乗しやすくなります。
 - ベッドへ戻る場合は、マットレスの上面が少し低めの方が移乗しやすくなります。いずれも個人差があります。使う方に合った高さに調整してください。
- 動作説明の内容を十分理解し、動作確認ができましたら、マットレスをボトムの上にのせて、使用してください。

4. サイドレールとベッド用グリップについて

1. サイドレールの使用目的

- サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして、使用します。

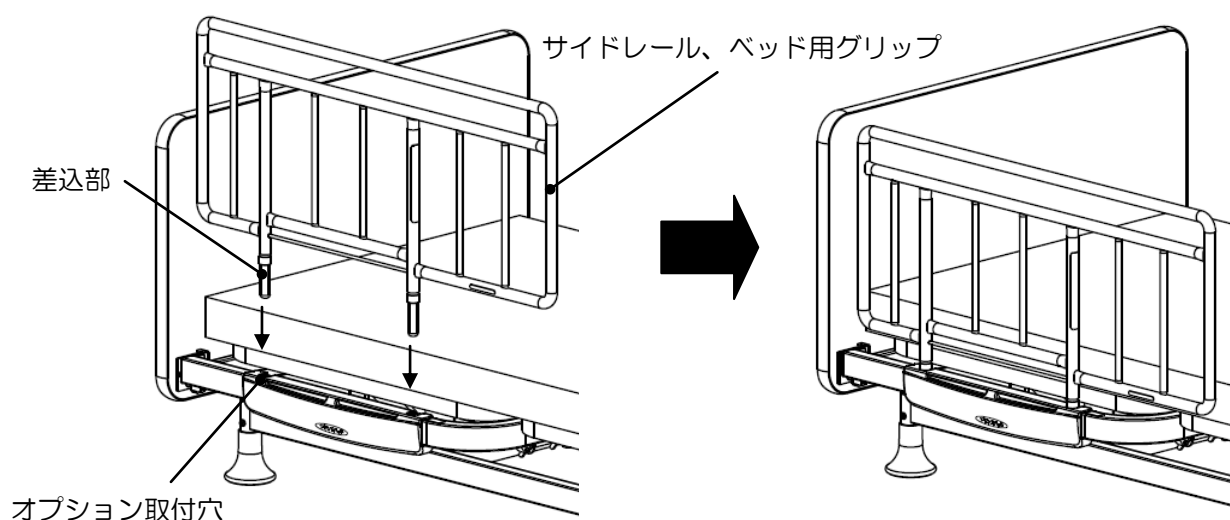
2. ベッド用グリップの使用目的

- ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するものです。ベッドから乗り降りする方向の頭側に取り付けます。

※ ベッド用グリップとは「JIS T 9205」で定義された手すりのことです。

3. サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法

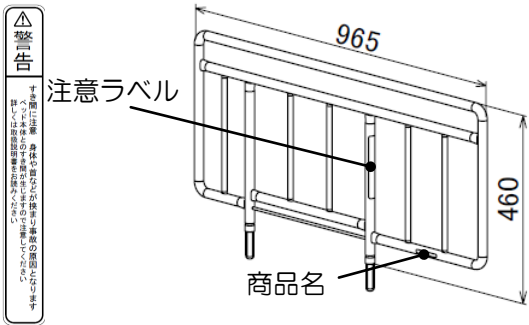
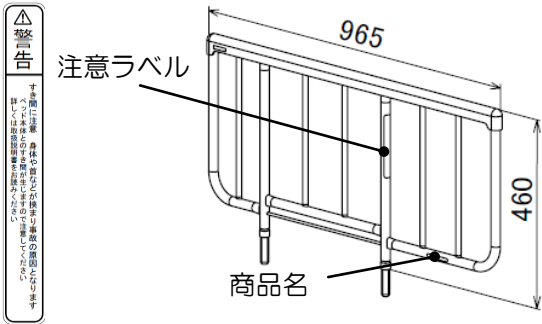
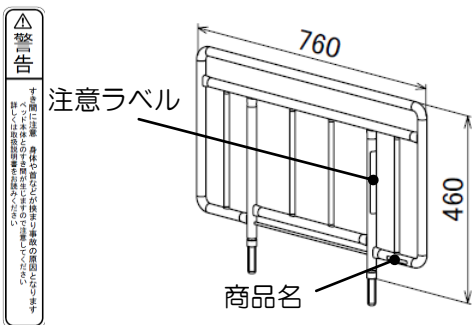
- サイドレール、ベッド用グリップはベッド左右にあるオプション取付穴に差し込みます。
- ベッド用グリップの取り付けには、各ベッド用グリップの使用方法を確認してください。



4. 推奨するサイドレールとベッド用グリップ

- 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- 商品名をご確認ください。
- 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

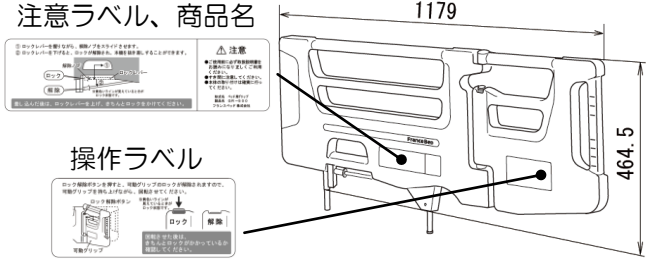
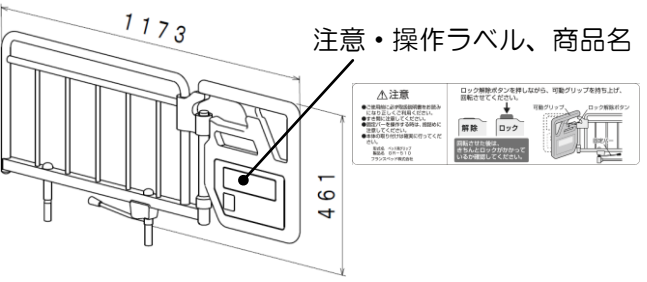
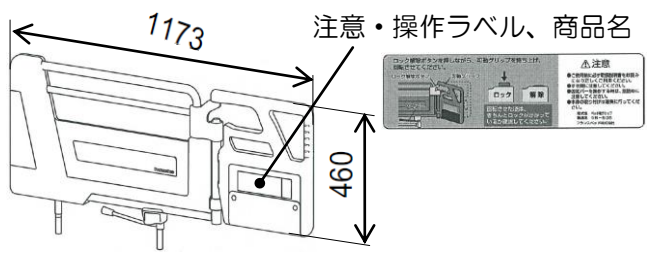
推奨するサイドレール

商品名	形状、寸法（mm）	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5（kg）
サイドレール SR-106JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 PP 3.5（kg）
サイドレール SR-300JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.0（kg）

折りたたみ式サイドレールについて

折りたたみ式サイドレール SR-722JJ、SR-723JJ は取付部品の関係から本製品に対応していません。

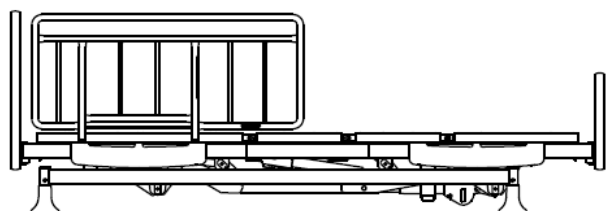
推奨するベッド用グリップ

商品名	形状、寸法 (mm)	材質、塗装、重量
ベッド用 グリップ マルチ移動 支援バー GR-500		スチール 粉体塗装 PP PE 9.0 (kg)
ベッド用 グリップ GR-510		スチール 粉体塗装 PP POM 7.0 (kg)
ベッド用 グリップ GR-505		スチール 粉体塗装 PP PE POM AES 8.0 (kg)

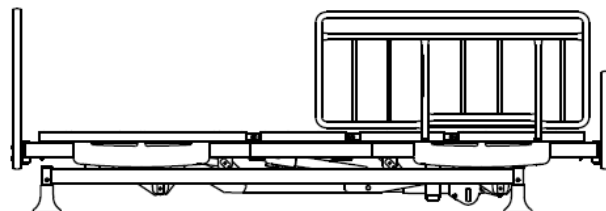
5. サイドレールとベッド用グリップの推奨取り付け位置

- サイドレールとベッド用グリップの推奨取り付け位置を以下に示します。

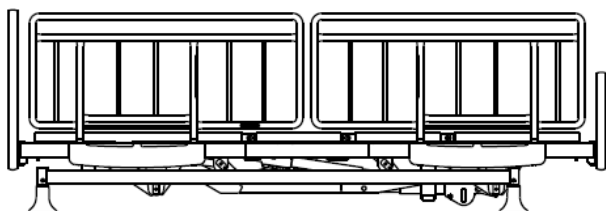
サイドレールの推奨取り付け位置



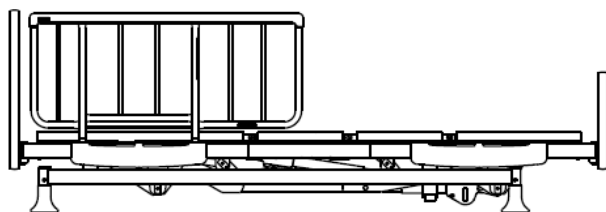
頭側：SR-100JJ



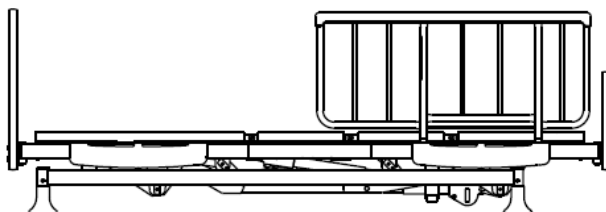
脚側：SR-100JJ



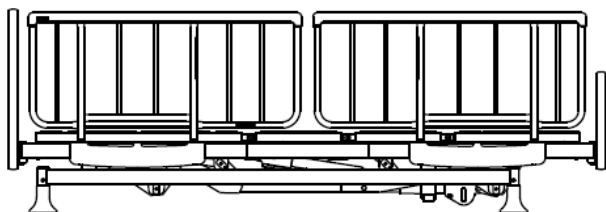
頭側：SR-100JJ 脚側SR-100JJ



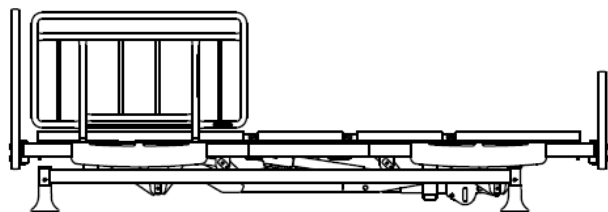
頭側：SR-106JJ



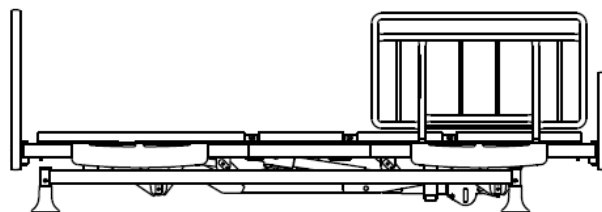
脚側：SR-106JJ



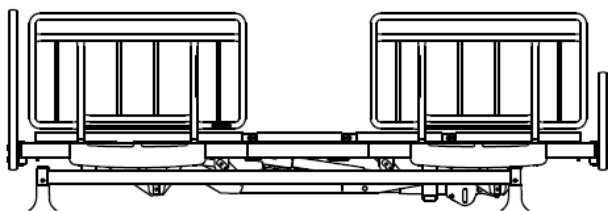
頭側：SR-106JJ 脚側：SR-106JJ



頭側：SR-300JJ

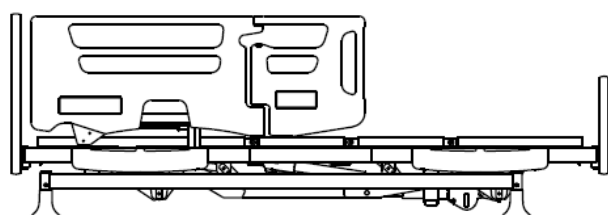


脚側：SR-300JJ

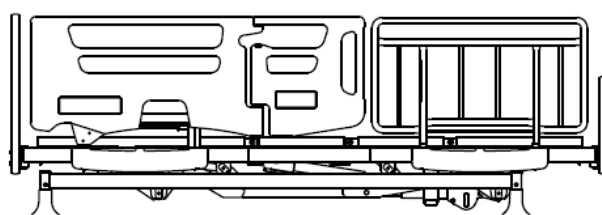


頭側：SR-300JJ 脚側：SR-300JJ

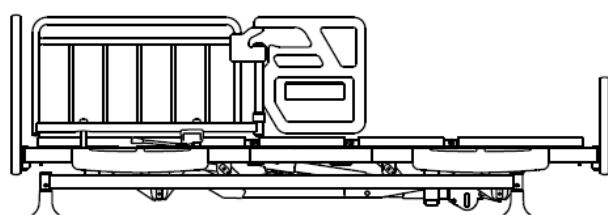
ベッド用グリップの推奨取り付け位置



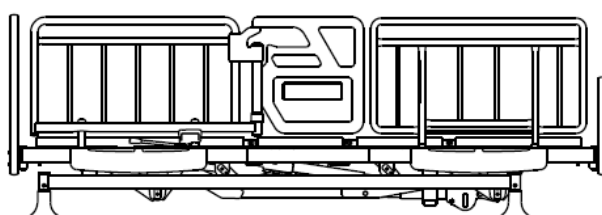
頭側：GR-500



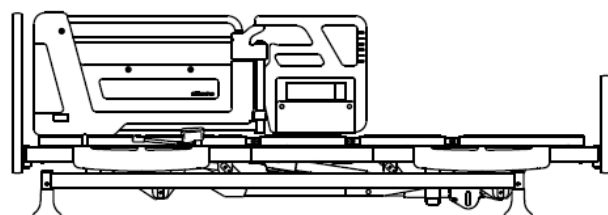
頭側：GR-500 脚側：SR-300JJ



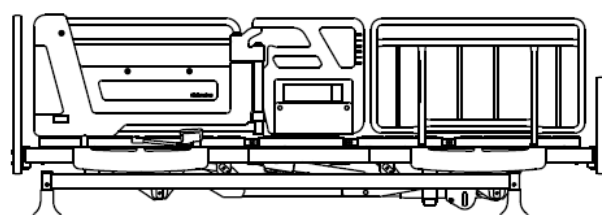
頭側：GR-510



頭側：GR-510 脚側：SR-300JJ



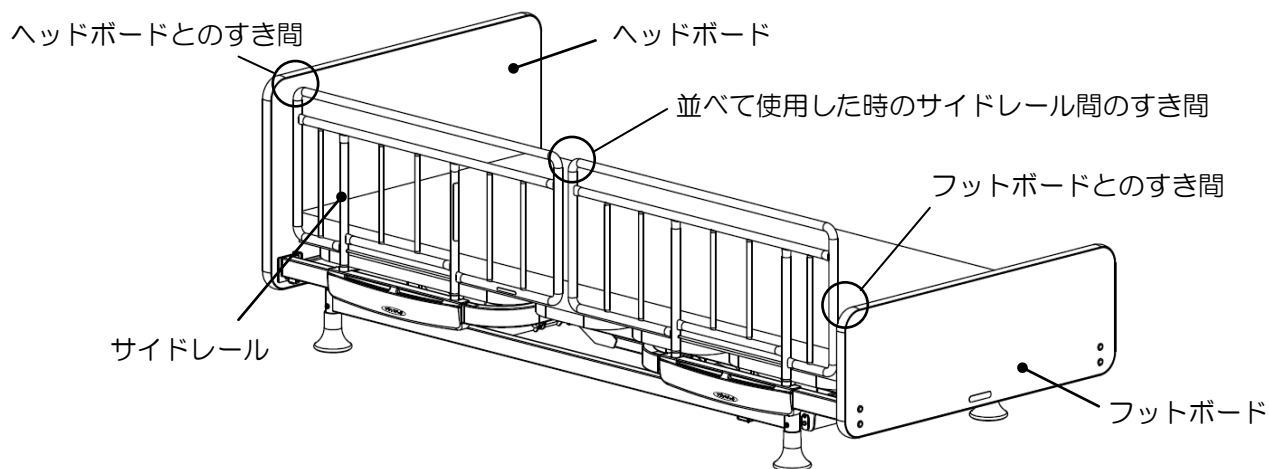
頭側：GR-505



頭側：GR-505 脚側：SR-300JJ

6. サイドレールとベッド用グリップの注意事項

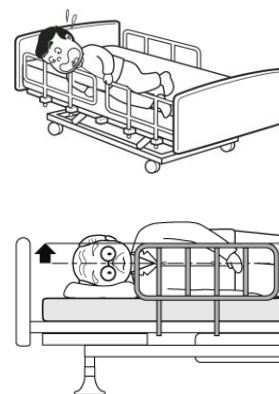
- サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。



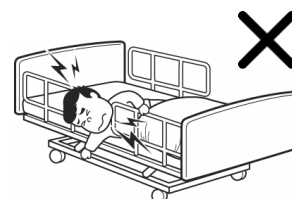
ベッドに設置した場合のすき間に関する注意

警告

使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。特に厚いマットレス（エアマットレスなど）との組み合わせによっては相対的にサイドレール、ベッド用グリップ高さが低くなります。乗り越えないよう注意してください。マットレスは指定の厚さのものをご使用ください。使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。ベッドから転落してケガをするおそれがあります。

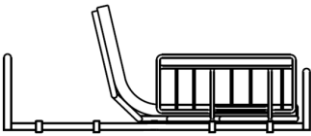
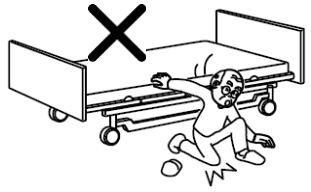


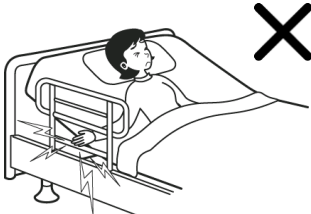
ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。

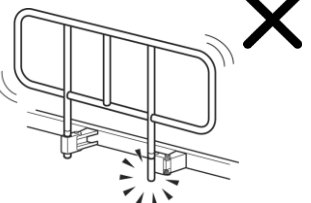


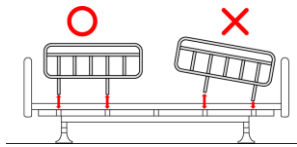
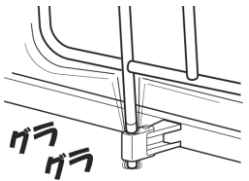
サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかっていると身体が圧迫されて、傷害や生命の危険にかかわるケガをするおそれがあります。



サイドレールやベッド用グリップを1本で使用（ベッドの片側での使用）する際はベッドとのすき間があきますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体が挟まれる可能性がありますので注意してください。		
サイドレールやベッド用グリップを差し込む位置によっては、背上げをしたマットレスとV字形のすき間になる場合がありますので注意してください。特に体幹を保持できない使用者には注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。		
落下防止のため、専用のサイドレールの使用をお勧めいたします。また、落下する可能性の大きい使用者には、側面全体をサイドレールでおおうなどの方法が有効です。		
使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。 使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがある事を認識させてください。		
ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。 ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。 衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかったり重大事故となるおそれがあります。		
ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。 ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。 衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかったり重大事故となるおそれがあります。		
ベッドから降りる際は、なるべく背上げした状態で行ってください。特に足腰に不安がある方はベッド用グリップの併用をおすすめします。		
サイドレール、ベッド用グリップは推奨する取り付け位置以外で使用しないでください。推奨取り付け位置と商品名をご確認ください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。特に、予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方には十分注意してください。		

サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。 特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。 挟まれてケガをするおそれがあります。		
サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。 破損や転倒、転落をして事故の原因となります。		
ベッド用グリップを熱器具の近くに放置しないでください。 火災、変質の原因になります。		
12 歳以下の子供、新生児、幼児などには使用させないでください。 また取扱説明書、注意ラベルの内容が理解できない方（認知症の方など）には使用させないでください。 思わぬ事故の原因となります。		
乳幼児には使用しないでください。乳幼児には必ず乳幼児専用のベッドを使用してください。 サイドレール、ベッド用グリップの格子のすき間から転落するおそれがあります。		

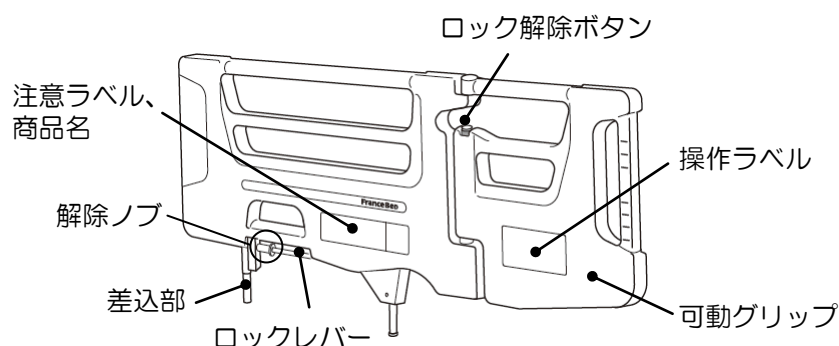
 注意		
直射日光の当たる場所は避けてください。 変形、変色の原因になります。		
高温、多湿な場所は避けてください。 反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。		
サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず 2 箇所差し込んでください。 固定が不十分だと、グラツキが発生し事故の原因となります。		

サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。 無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。		
長期間の使用などにより差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。 ぐらついたまま使用していると思わぬ事故の原因となります。		
座位が保てない方の使用は注意してください。 背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。		
思わぬケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください。		
サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。 過大な力が掛かり変形、破損の原因となります。		
お客様による修理、改造は絶対にしないでください。修理は、販売店または弊社お客様相談室に依頼してください。 思わぬ事故の原因となります。		
定期的に点検してください。思わぬケガをしないように、製品に異常（本体がぐらついたり固定できないなど）がないか定期的に点検してください。		

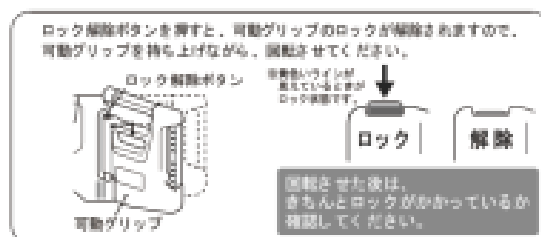
7. ベッド用グリップ GR-500 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-500 の各部の名称

GR-500 の各部の名称を下記に示します。



注意ラベル、商品名（ロックレバー操作説明）



操作ラベル（ロック解除ボタン操作説明）

GR-500 の各部の名称

● ベッド用グリップ GR-500 の設置方法

- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるが、左側に取り付けるか決めます。

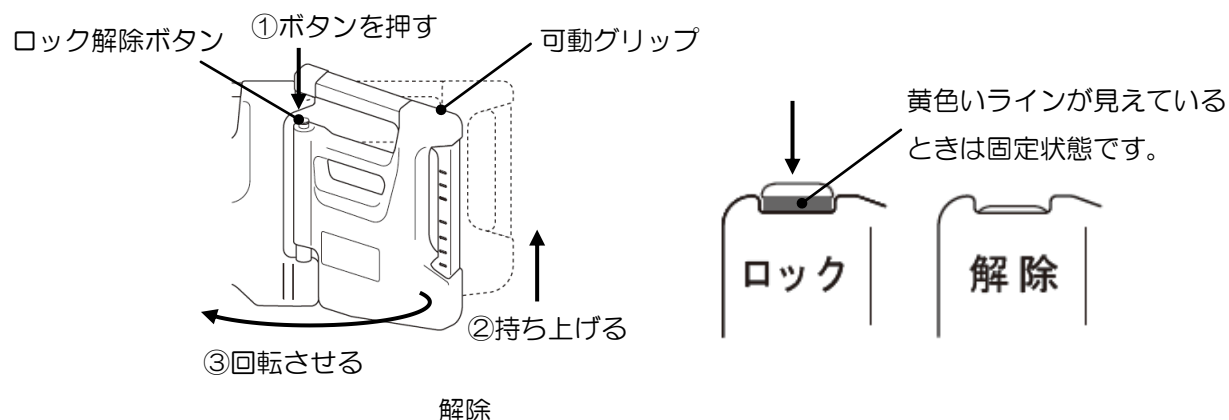
⚠ 注意

確実に差し込まれていないと固定できません。



● 可動グリップの操作方法

- ① ロック解除ボタンを押すと、可動グリップの固定が解除されますので、押しながら可動グリップを持ち上げ、回転させてください。可動グリップは真っ直ぐと 90° 回転させた位置で固定することができます。回転させた後は、確実に固定されているか確認してください。



● ベッド用グリップ GR-500 の注意事項

ベッド用グリップ GR-500 の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告

ベッドに確実に固定されていることを確認してから使用してください。
固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります事故の原因となります。



可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。
固定が不十分だと、移動バーが不意に回転し、転倒、ケガをするおそれがあります。



ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒等の事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。
操作時に誤って転落し、ケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

操作のときに、手指を挟まないように注意してください。
ケガや事故の原因となります。



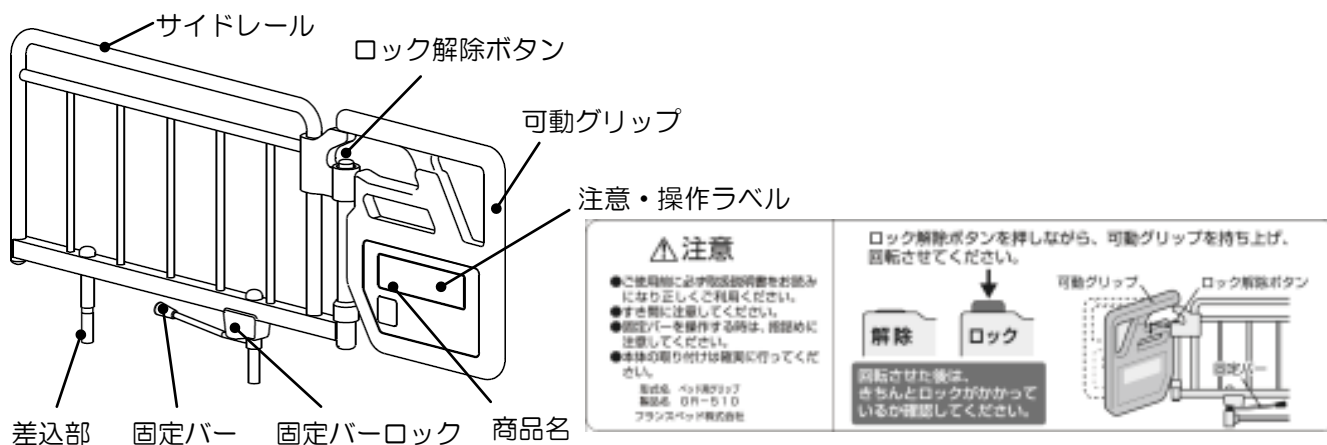
可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。
すき間により、手指が挟まれるおそれがあります。



8. ベッド用グリップ GR-510 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-510 の各部の名称

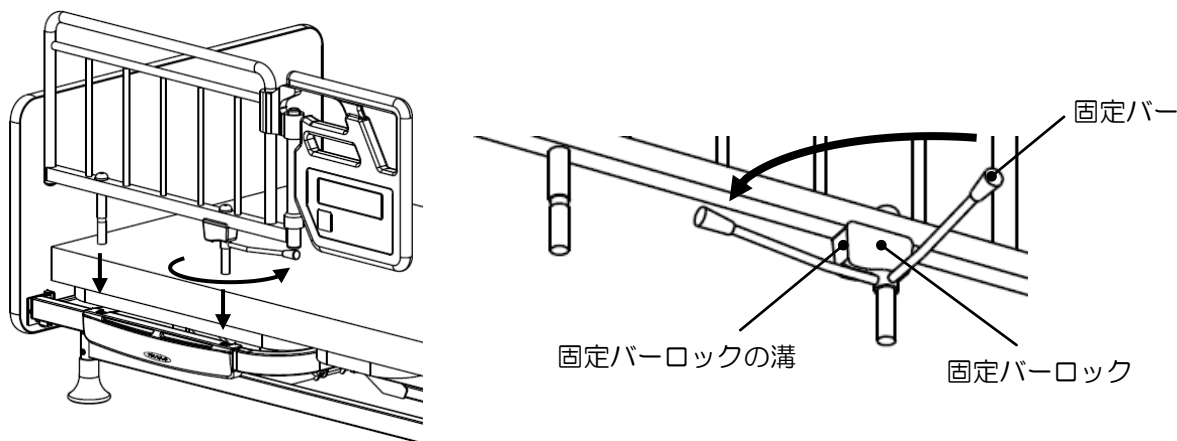
GR-510 の各部の名称を下記に示します。



GR-510 の各部の名称

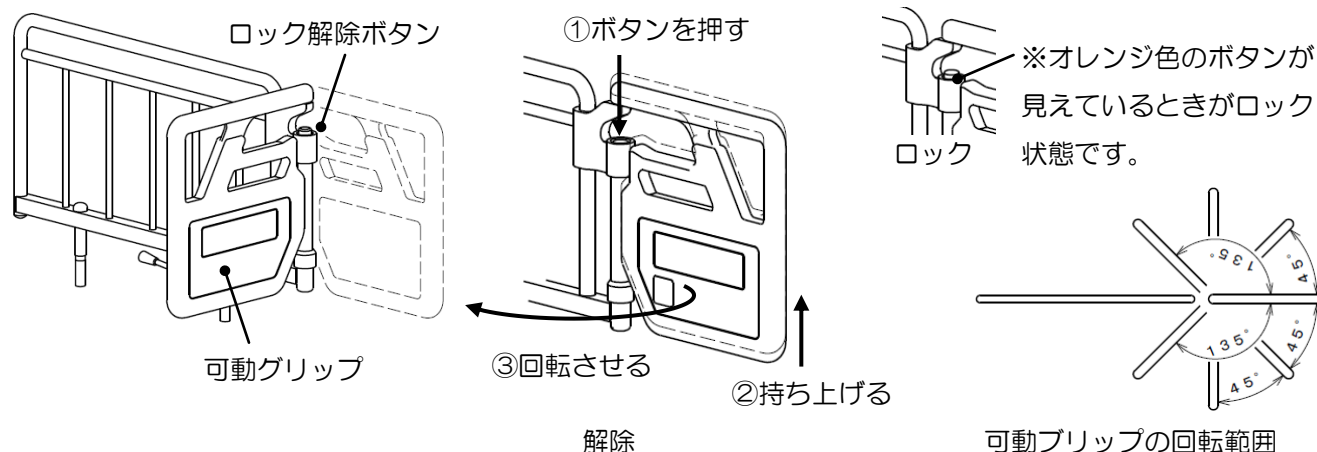
● ベッド用グリップ GR-510 の設置方法

- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めます。
- ② 固定バーを可動グリップ側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。
- ③ 固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。



● 可動グリップの操作方法

- ① ロック解除ボタンを押すと、可動グリップのロックが解除されますので、押しながら可動グリップを持ち上げ、回転させてください。可動グリップは真っ直ぐと 45°、90°、135° と回転させた位置で固定することができます。回転させた後は、確実に固定されているか確認してください。

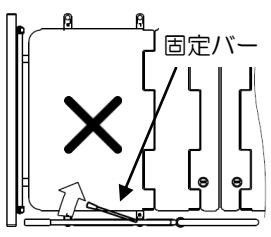


● ベッド用グリップ GR-510 の注意事項

ベッド用グリップ GR-510 の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告	
固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります事故の原因となります。	⚠
可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、可動グリップが不意に回転し、転倒、ケガをするおそれがあります。	⚠
ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒などの事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。 操作時に誤って転落し、ケガをするおそれがあります。	⚠
45° で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。	⚠

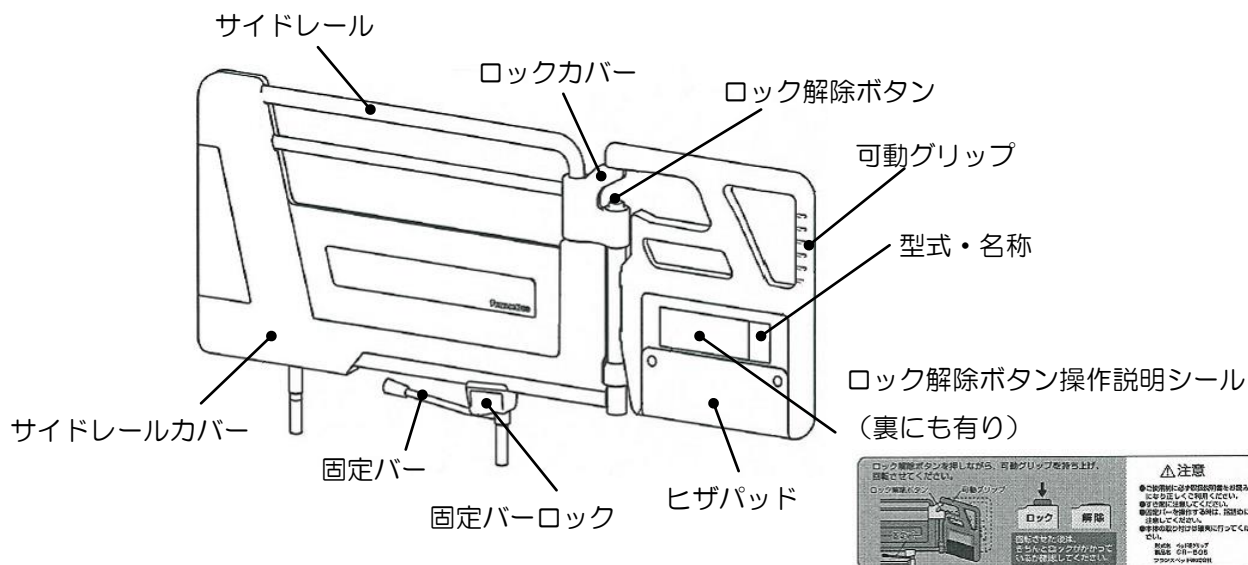
⚠ 注意	
操作のときに、手指を挟まないように注意してください。 ケガや事故の原因となります。	⚠
可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。 すき間により、手指が挟まれるおそれがあります。	⚠

可動グリップを固定する角度（0°、90° 以外の場合）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。 事故や破損の原因となります。	
固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。 固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。	 
可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。 事故や破損の原因となります。	

9. ベッド用グリップ GR-505 の使用方法

● ベッド用グリップ GR-505 の各部の名称

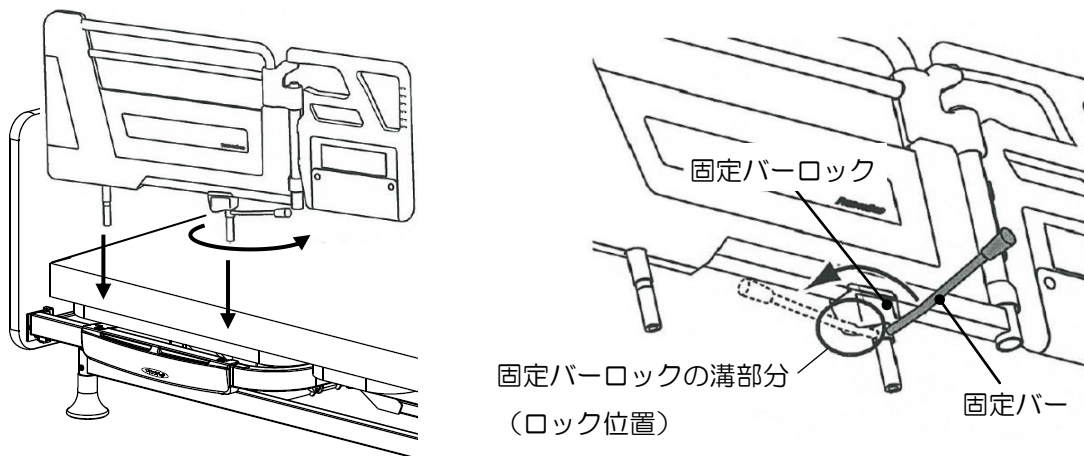
GR-505 の各部の名称を下記に示します。



GR-505 の各部の名称

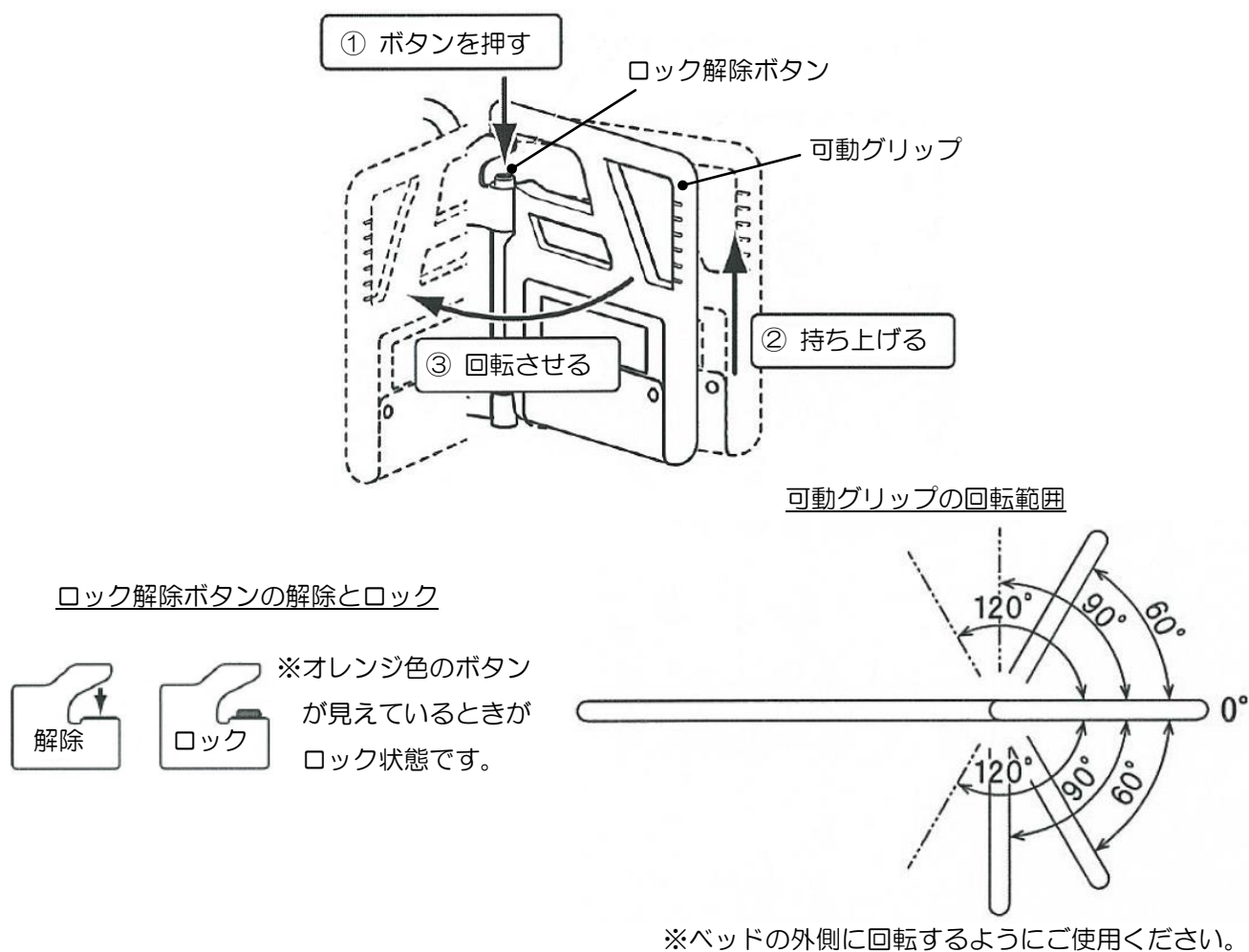
● ベッド用グリップ GR-505 の設置方法

- ① 推奨の取り付け位置は、頭側になります。ベッドの右側に取り付けるか、左側に取り付けるか決めます。
- ② 固定バーを可動グリップ側に回します。差込部をオプション取付穴に差し込みます。
- ③ 固定バーをサイドレール側に回して、固定バーロックの溝で固定します。

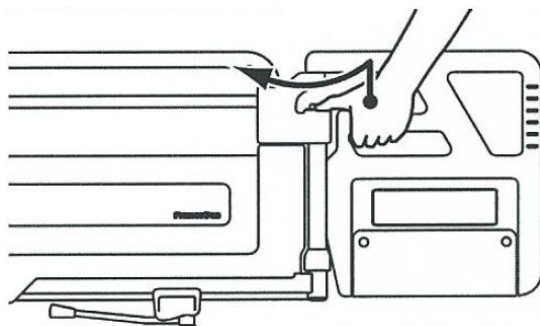


● 可動グリップの操作方法

- ① ロック解除ボタンを押しながら稼働グリップを持ちあげると、ロックが解除されますので持ちあげたまま回転させてください。可動グリップは 0° と左右 60° 、 90° 、 120° でロックすることができます。



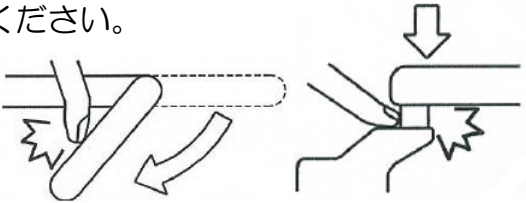
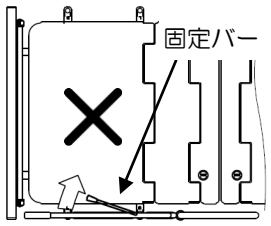
- ② ボタンを押しながらグリップ部を持ちあげると、片手で簡単に可動グリップの操作ができます。両手で操作する場合はボタンを押しながらグリップを軽く持ちあげてください。

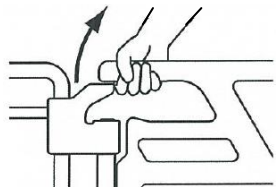


● ベッド用グリップ GR-505 の注意事項

ベッド用グリップ GR-505 の注意事項を以下に示します。

⚠ 警告	
固定バーは確実に固定バーロックの溝にはまっていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、本体がベッドフレームから外れる可能性があります。事故の原因となります。	⚠
可動グリップが確実に固定されていることを確認してから使用してください。 固定が不十分だと、可動グリップが不意に回転し、転倒、ケガをするおそれがあります。	⚠
ベッドの上から操作する際は転倒に注意してください。操作がうまくできない方、足腰が不安定な方の使用の際には、転落、転倒などの事故を防止するためにも、介助者が付き添った上でご使用ください。 操作時に誤って転落し、ケガをするおそれがあります。	⚠
60° で固定したとき、マットレスと可動グリップにV字形のすき間ができますので注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをするおそれがあります。	⚠

⚠ 注意	
可動グリップを固定する角度（0°、60°、90°、120° 以外）によっては、ベッドとのすき間が大きくなる場合があります。十分注意して、使用してください。 事故や破損の原因となります。	⚠
サイドレールカバーおよびロックカバーの開きがない状態でご使用ください。 開いた状態のまま使用すると指を挟みこみ、ケガの原因になります。	⚠
操作のときに、手指を挟まないように注意してください。 可動グリップを回転させるときは、手指を挟まないように注意してください。 ケガや事故の原因となります。	
固定バーを回して固定する際は、サイドレールの位置よりも、マットレス側に回さないでください。 固定バーを回しすぎると背上げ動作時に、背ボトムと干渉して事故や破損の原因となります。	

グリップ部を過度に引き上げないでください。 グリップが外れ、動かなくなるおそれがあります。	
可動グリップは、マットレス側には回転させないでください。 事故や破損の原因となります。	

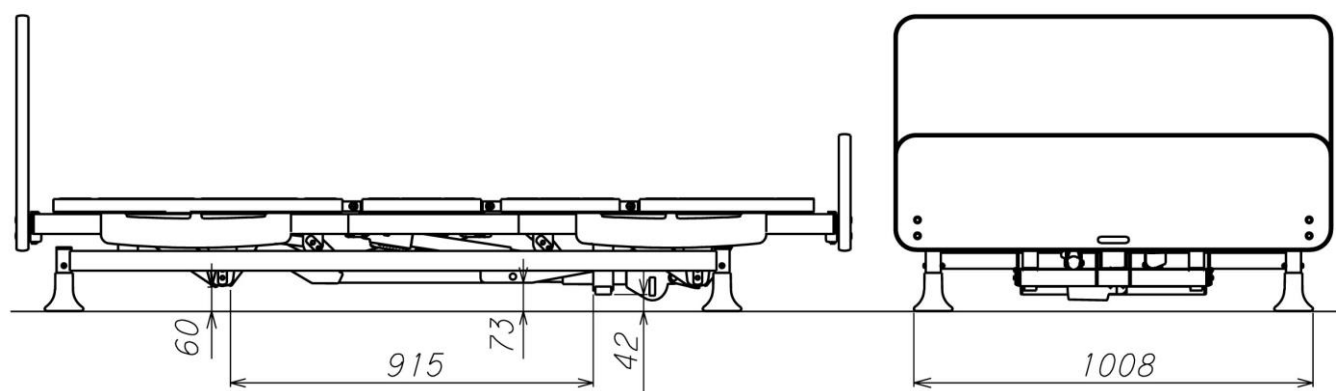
10. サイドレールとベッド用グリップのメンテナンス情報

サイドレールおよびベッド用グリップに下記の異常が見られた場合、ただちに使用を中止し、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

- 差込部分が異常にぐらぐらする。
- ベッドから容易に外れる。
- 正しく固定できない。
- 固定を解除できない。
- そのほか異常と思われる場合。

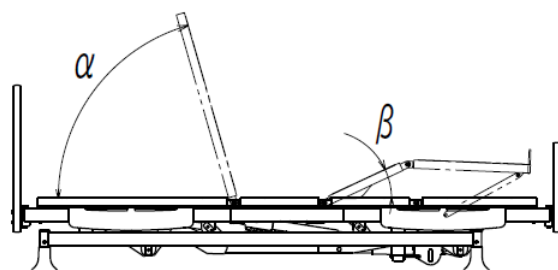
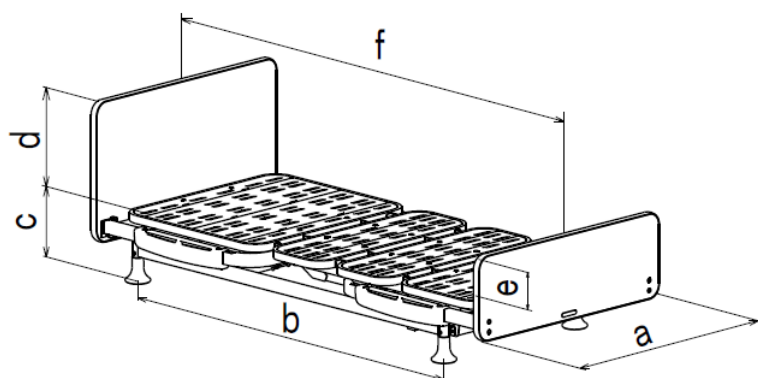
5. リフトの利用について

- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合は、ベースフレームの脚部を逃げる幅寸法は1008mmです。
- ベッド側面からご利用になる場合は、ベッド最低高さで図のようになります。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店に相談してください。
- ご利用の際は、リフトの取扱説明書に従ってください。



6. 仕様

電気定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50/60 Hz
	定格消費電力	150W（連続使用時間 2 分）
ベッド寸法	a：幅（最大外形寸法）	1105mm
	b：脚座間の長さ （脚部の取り付け位置の距離）	1661mm
	c：ボトムの高さ （床からボトム上面まで）	285～625mm （ストローク：340mm）
	d：ボトム上面からヘッドボード （フレーム）の上端まで	463mm
	e：ボトム上面からフットボード （フレーム）の上端まで	313mm
	f：長さ（最大外径寸法）	2106mm
背部、脚 （ひざ）部	α ：背部の最大傾斜角度	74 度
	β ：脚（ひざ）部の最大傾斜角度	24 度



長さの公差：±5mm

角度の公差：±3 度

本体の形状

材質	フ レ ー ム	鋼管、鋼板 ポリエステル樹脂粉体塗装 樹脂成型品
	ボ ト ム	ポリプロピレン樹脂
重量	約90kg	
電源コード長さ	モーター出口より 2.7m	
脚部	取り付け高さ 97mm	
安全使用荷重	1700N	
対応マットレス ※1	巾：970mm 厚さ：30～190mm ※2 重量：20kg 以下 ※3	

※1 弊社指定のスプリング入りマットレスをご使用下さい。

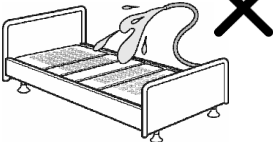
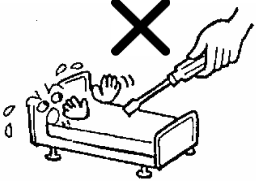
※2 マットレス厚さが 190mm を超える場合は転落を防止するためのサイドレール、ベッド用グリップのマットレス上面からの高さが十分に確保できませんので、十分注意して下さい。（P 19をご参照ください）

※3 マットレス重量が 20 k g を超える場合は、使用者の体重との合計が 155 k g 以下で使って下さい。ただし、使用者の制限体重は 135 k g です。

7. お手入れ方法

ベッドをお手入れするときは、下記に注意して行ってください。

⚠ 警告

お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電するおそれがあります。		
電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。 電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。		
お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。 感電、異常動作の原因になります。		
ご自身で分解、修理、改造はしないでください。 火災、感電、異常動作の原因になります。		

⚠ 注意

⚠ 注意	
定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。 また、破損状態での使用を避けてください。 事故の原因となります。	!
ベッドを保管するときは、背ボトムと脚ボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。 下げた位置で保管しないと故障の原因となります。	!
汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものおよび、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。 変色、変質、商品を傷める原因となります。	ベンジン シンナー × ⊘

高温、多湿、ほこりの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。	
ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。	

- ベッドフレームは、乾いた柔らかい布で拭いてください。しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹼水で拭き取り、その後で乾いた布で拭いてください。揮発性のものは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。
- ベッドフレーム（木製部分含む）は水拭きせず、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- ネジ類がゆるんでいないかどうか、時々確認してください。ゆるんでいたら、締めてください。
- 手元スイッチを清掃するときは、必ず電源を抜いてください。溶剤や、洗剤の原液を使用せずに、中性洗剤を薄めて硬く絞った布で拭いてください。十分乾燥時間をおいた後に電源プラグをコンセントに差し、必ず動作確認を行ってください。
- 電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜き、乾いた布で刃および取り付け面を拭いてください。

8. 点検

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレールなどの付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。ベッドの状態を一番よく把握しなければならないのはご購入者様ご自身であり、日頃の点検などの適切な管理が必要となります。

多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や磨耗が進みます。点検を行うことにより、大きなトラブルを防止し安心して使用することが出来ます。

1. 外観点検項目

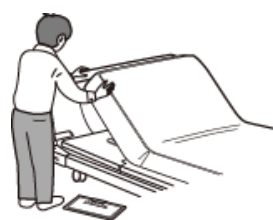
目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

- ヘッドボード、フットボード、ボトム、脚部、サイドレール、ベッド用グリップに異常がないか確認します。
- サイドレールが変形し想定以上のすき間になっていないか確認します。
- ネジ、ピン、抜け止め部品などが確実に取り付けられているか確認します。
- ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- 電装部品（手元スイッチ、モーター）のコードやケースに損傷があるかを確認します。

2. 作動点検項目

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- 表示（ランプ）は仕様どおり点灯するか確認します。
- 機能どおり動作するか確認します。
- 動作時に異音の発生がないか確認します。

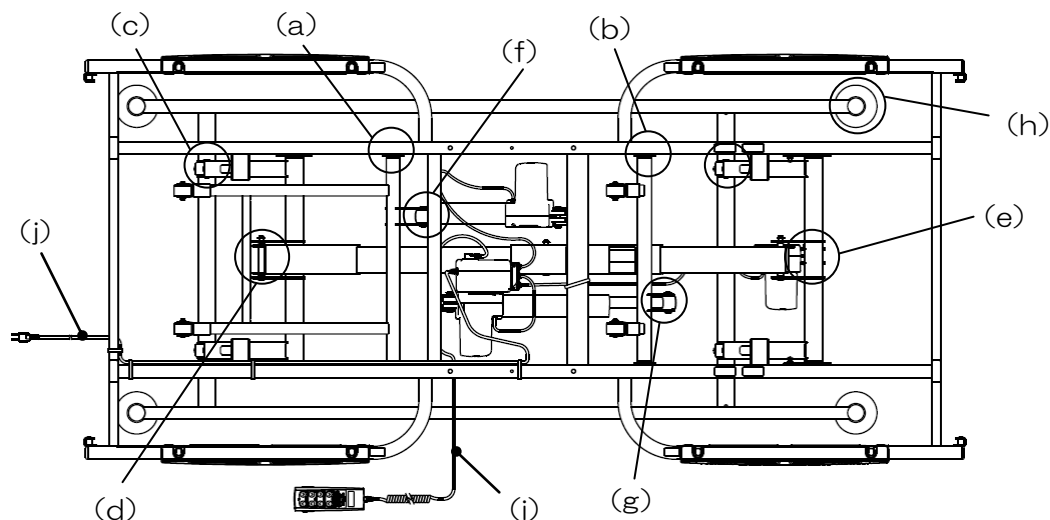


ベッドの使用中や点検時に不具合を発見された時には、まずはベッドのご使用を控えるか、場合によっては使用を一時中断し、速やかに販売店又は弊社お客様相談室に故障状況を報告し、修理を依頼することが適切です。

ご自身による故障の修理などは絶対に行わないでください。

3. 点検および調整

長期にわたってより安全にご使用頂く為に、以下の項目を点検、調整を行ってください。



グリスアップ

可動部にグリスを塗ります。基本的には異音が発生しなければその必要はありません。

- (a) 背ギャッチアームの回転箇所（2箇所）
- (b) 脚ギャッチアームの回転箇所（2箇所）
- (c) ハイローリンクとベースフレームを接続しているピン（4箇所）
- (d) レンケツバーとハイローリンクを接続しているピン（2箇所）
- (e) ハイローモーターを接続しているピン（2箇所）
- (f) 背上げモーターを接続しているピン（2箇所）
- (g) 脚上げモーターを接続しているピン（2箇所）

ネジの点検

使用条件によってはネジがゆるみ、ベッドがぐらつくことがあります。以下のネジ部を点検してください。

- (h) 脚部取り付けネジ（4箇所）

コードの確認

各種コードが痛んでいないか確認してください。

- (i) 手元スイッチのコード
- (j) 電源コード

9. 消耗部品

ベッドは保守部品と消耗部品で構成されています。保有期間は製造販売終了（中止）後 8 年です。このベッドの主な消耗部品は以下の部品です。使い方によっては、使用期間が短くなることがあります。

部品名称	想定される故障の原因
手元スイッチ (コードを含む)	● サイドレールに巻き付けるなどしてコードに想定以上の荷重が加わったため、コードが断線する。 ● 床に落とした状態で引きずったため、コードが断線する。 ● コードを踏んだため、コードが断線する。 ● 指以外で操作したため、手元スイッチが破損する。
電源コード	● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、コードが断線する。 ● 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、電源プラグが破損する。
モーター	● 安全使用荷重以上の状態で使用したため、モーターが破損する。
各種ピン類	● 想定以上の荷重の繰り返しや油切れのため、各種ピン類が磨耗する。

10. 耐用期間

耐用期間とは消耗部品の交換や修理を繰り返し行うことで品質、安全性が維持できる期間です。指定された保守点検を実施し、指定された使用条件下で使われた場合の耐用期間は8年です。但し保守点検状況により差異が生じることがあります。

※ 耐用期間は保証期間ではありません。

11. こんなときには

ベッドが動かない場合、修理を依頼する前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

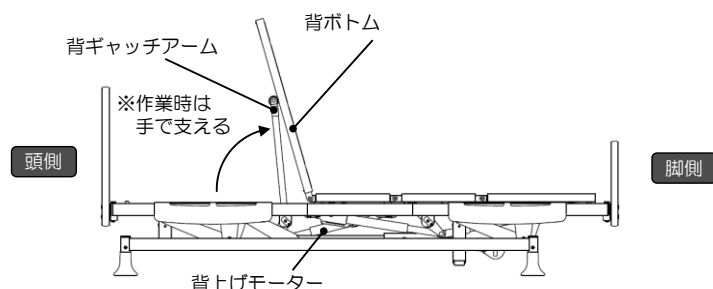
症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない（指定の動作をしない）。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	差込口から手元スイッチコードの先端が外れていませんか？	手元スイッチコードの先端を差込口に差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。修理の依頼をしてください。
	手元スイッチのボタンを、同時に2つ押していませんか？	各ボタンを1つずつ押してください。
ベッドが昇降しない。	ベッドの周囲に障害となるものがありますか？	障害となるものを取り除いてください。
	ベッドが過負荷になっていませんか？	安全使用荷重を確認して使用してください。
ボトムが水平にならない。	組み立てが正しく行われていますか？	正しく組み立て直してください。
	ボトムとサイドフレームの間に掛け布団や毛布などが挟まれていますか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれた物を取り除いてください。

症状	チェック項目	対処方法
ベッドがガタつく。	ネジがゆるんでいませんか？	ネジを確実に締めてください。
	ヘッドボード、フットボードは正しく取り付けられていますか？	ヘッドボード、フットボードを正しく取り付け直してください。
	抜けている固定ピンなどはありませんか？	抜けている固定ピンなどがなければ確認してください。抜けている場合は、確実に差し込んでください。
ベッドの動きが正常でない。	ベッドは確実に組み立てられていますか？	販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。電源プラグをコンセントから抜き、修理の依頼をしてください。

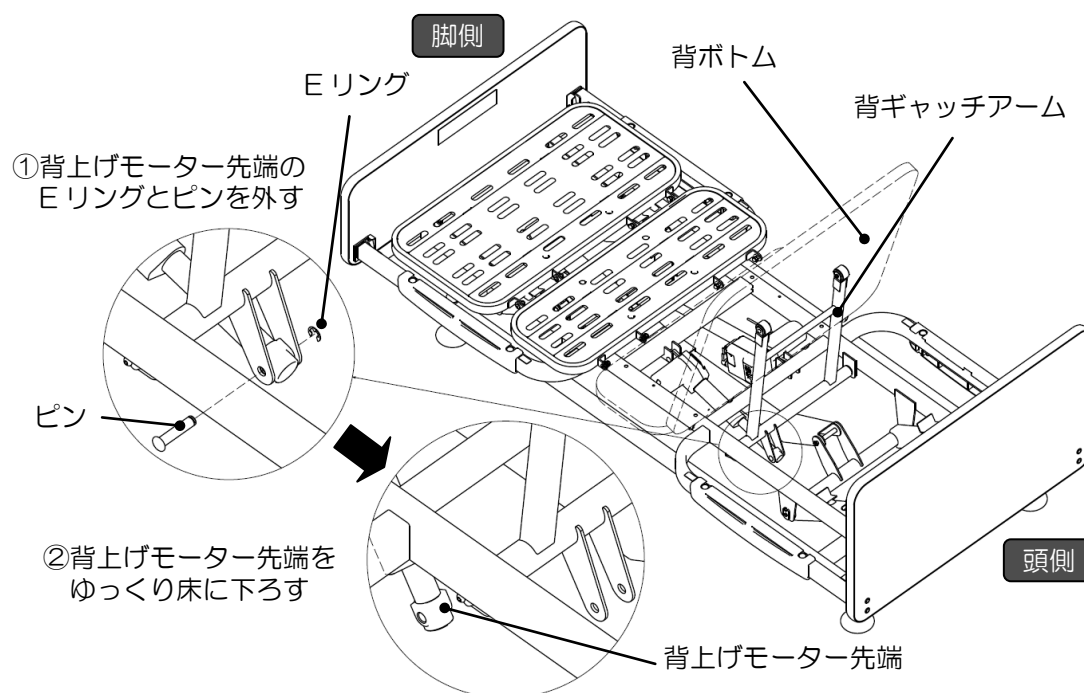
12. 停電や故障で背が起きたまま停止してしまったとき

- 停電が終われば再び手元スイッチにて操作できます。
- 就寝に支障をきたす場合は、下記の手順でモーターを取り除いてご使用してください。
- ※ 作業は安全のため2名以上で行ってください。
- ※ 作業時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ ご利用者様がベッドから降りていただいた状態で作業を行ってください。

- ① 背上げモーターを取り外すと背ギャッチアームと背ボトムが落下するため、作業時は背ギャッチアームと背ボトムを支えながら行います。



- ② 背上げモーター先端のEリングを外してピンを抜きます。次に背上げモーター先端をゆっくり床に下ろします（根元のピンを抜くと背上げモーターが落下するため、背上げモーターを手で支えながら行います）。

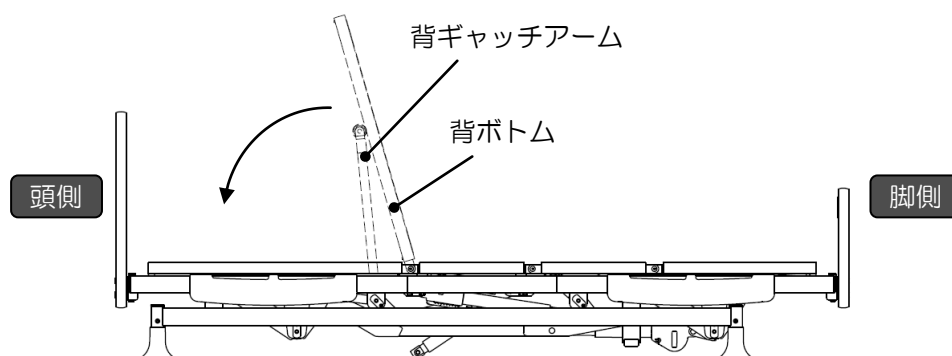


⚠ 注意

背上げモーター先端をはずした状態で上下昇降を行わないでください。
フリーになった背上げモーター先端部が床と衝突し、破損の原因となります。



- ③ 背ギャッチアームと背ボトムをゆっくりと下ろします。



- ④ 停電が終わったら、逆の手順で元に戻してご使用ください。

13. アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

お客様相談室

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

お客様相談室



フリーダイヤル：0120-39-2824

受付時間：月～金曜日 9時～12時 13時～17時

（土、日、祝祭日、年末年始、弊社指定の休日などは除く）

製造元：フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

14. 保証書

保証期間	1年間
お買い上げ日	平成 年 月 日
お客様	ご芳名 〒 □□□-□□□□
	ご住所
	TEL
販売店	店名・住所

保証の対象
ベッドフレーム本体のみ行います。（マットレス除く）

保証の態様
(1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
(2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。
(3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿った訪問に要する実費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件
保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。
※ご注意 本保証書にお届け日、販売店名の記入の無き場合は、納品書又は領収書を併せて保管願います。

保証の適用除外
(1) 本保証書及び納品書又は領収書のご提示が無い場合。
(2) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
(3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
(4) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
(5) 火災、地震、風水害、落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。
(6) 本製品の製造上に起因した欠陥であることを確認できない場合。
(7) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
※ 上記項目については有償修理になります。

法的責任
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

フランスベッド株式会社
〒196-0022 東京都昭島市中神町1148
TEL 042(543)3111（代表）